



第3・4部門

『中高年の地域活動の拠点に関する実態調査』

—地域に親しまれ、地域貢献をしている民間施設【基礎調査】—

(平成19年3月発行)

A4 211ページ

本書は、地域に親しまれ、地域貢献をしている民間施設として、「中高年の地域拠点」、いわゆる地域のたまり場に関する調査研究（2006年4月～9月実施）を行っている。「たまり場」と一口にいても地域によって様々な捉え方があるが、公的施設以外の民間施設、特に自宅開放の可能性を提示している。

福留強（聖徳大学生涯学習研究所所長、

聖徳大学人文学部生涯教育文化学科教授）

齊藤ゆか（聖徳大学人文学部生涯教育文化学科講師）

目次

1 中高年の生活実態

- (1) 増える65歳以上の単独世帯
- (2) 高齢期に高まる孤独時間
- (3) 中高年期の不安要因は、健康、生活設計、経済

2 中高年の地域拠点＝「創年のたまり場」とは

- (1) 創年とは
- (2) 創年のたまり場とは

3 「創年のたまり場」の全国調査結果

- (1) 調査概要
- (2) たまり場調査の特徴

付論. 都道府県別にみた公共的空間

- (1) 全国の高齢化率
- (2) 全国の公共的空間
- (3) 国土交通省による「道の駅」

資料1. 全国市町村一覧（都道府県別地図）

資料2. 全国市町村一覧及び中高年の地域活動の拠点数

資料3. 中高年の地域活動拠点（市町村別）

資料4. 中高年の地域活動の拠点に関する実態調査 調査用紙